

## 採択拠点の拠点形成概要及び採択理由

【分野名：機械、土木、建築、その他工学】

大 学 名	東京理科大学	整理番号	H - 2
拠点のプログラム名称	先導的建築火災安全工学研究の推進拠点		
中核となる専攻等名	総合研究所火災科学研究部門		
事業推進担当者	(リダー)若松 孝旺 外8名		
<p>(拠点形成の概要)</p> <p>本拠点は、最先端の建築火災安全工学研究を推進し、その成果を社会に還元・普及させる先導的役割を担う。そのために、本拠点の専任教員の補強を軸とする研究教育組織体制の強化、COE大学院コースの開設等による研究教育環境の整備、国際的研究教育協力網の形成を図り、世界最高水準の研究教育活動を展開する。大学院教育及び若手研究者の育成に関しては、大学院重点化支援、実務型専門技術者育成、海外連携教育促進、若手研究者支援の4プログラムを導入する。本COEプログラムによって、世界最高水準の研究教育環境が形成され、日本初の火災科学専攻課程を創設する基盤が整備される。これによって、優れた若手研究者が継続的に輩出され、また、本拠点発行の英文研究論文集の刊行頻度・水準の高度化が促進され、本拠点を核とする国際的研究教育協力網が形成される。本拠点形成の結果：火災科学分野の社会的理解・認識が広く浸透し、有望な人材育成の促進、火災安全技術者の職能の確立が加速され、建築火災安全工学研究が飛躍的に発展し、火災から国民の生命と財産を守る社会的貢献に大きく資するものと期待される。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>大学の将来構想、本プログラムに対する支援体制はともに評価できる。火災科学分野に特化した我が国でほとんど唯一の研究拠点としてこれまで大きな実績をあげており、国際的にも有数の拠点となっていると認められる。火災科学の基礎的分野、火災時の人間挙動、火災安全評価・設計体系の確立という拠点の研究目標も具体的に示されている。さらに教育面、海外拠点との連携に力をいれ、研究者育成を進めて世界的拠点としての地位をより確固としたものにされることを期待する。</p>			